

平成 28 年度 事業報告書

1. 総括

今年度は、「環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会」の活動を通じて、企業と地域との関係性づくりに力を入れた。環境学習ツアーの開催、企業の CSR アンケートや勉強会を重ね、12 月にはシンポジウム「世界一の環境学習のまち みずしまを目指して」を開催し、コンビナート企業関係者も参加して学びを通じた地域づくりについて語り合い、市民・企業・行政等による協働が進んだ。

中長期計画の策定について、平成 27 年 3 月に将来展望検討委員会を立ち上げ議論を重ね、平成 29 年 3 月 4 日に開催した第 27 回理事会で「倉敷公害訴訟和解 20 周年にあたって みずしま財団中長期計画」を確定した。

財政面では、引き続き、賛助会員の拡大、支出の精査・削減等、立て直しに取り組んだが、視察研修事業が当初予算に届かなかったことや、想定していた事業を獲得できなかったことなどにより大幅な赤字となった。

2. 重点項目

「世界一の環境学習のまち みずしま実現のために（地球環境基金助成事業）」

「環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会」は、前年度立ち上げた 3 つのワーキンググループ（環境学習推進、企業市民、地域交流）を中心に、①協働体制の構築と発信、②企業と地域のコミュニケーション力を高める、③留学生が公害経験や環境対策技術を学ぶ地域の確立の 3 本を柱に取り組みを進めた。

環境学習推進ワーキンググループ：リーフレット「みずしまの環境学習へようこそ」を作成し、講座や研修で活用した。また岡山大学と連携した授業を通じて、水島の教材づくり等を行った。

企業市民ワーキンググループ：企業と地域をつなぐことを目的に環境学習エコツアー（8/23）、水島のいいところ探し（海編）海からみずしまのまちを見てみよう・考えよう（3/12）を開催した。また水島コンビナート企業の CSR の現状を調べ、関係性を構築するためにアンケート調査・ヒアリング調査を実施した。12/23 にはシンポジウムを開催した。CSR を学ぶ勉強会（3/23）を開催した。

地域交流ワーキンググループ：地域を知り、地域内の交流促進を目指して、「バイクビズ・みずしまイベント（連島編）」の開催や、連続講座「水島学講座（初級編）」を開催し、毎回定員いっぱいの参加で好評を得た。

「和解 20 周年記念事業」

倉敷公害訴訟和解 20 周年記念事業についての特定費用準備金 600 万円を取り崩し、以下の事業を実施した。①写真家高田昭雄氏の協力の下、写真集「水島の記録 1968－2016」の発行。②杏林大学江頭説子特任講師のヒアリング調査に基づく報告書「患者会の活動と軌跡」の発行。③資料整理や閲覧体制の整備に基づく患者会の資料目録の作成。また、市民・企業・行政・大学等の協働による地域づくりの第一歩としてのシンポジウム「世界一の環境学習のまち みずしまを目指して」を開催した。

3. 個別項目

公益目的事業 1（公 1）

水島の公害経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざ

し、調査・研究、提言活動を実施した。

(1) 調査研究

海の指導者育成

事業内容	倉敷市水産課に事業提案を行ったが、事業として実現することはできなかった。
------	--------------------------------------

環境保健

事業内容	<p>(独) 環境再生保全機構の予防事業として(公財) あおぞら財団が実施する「地域における COPD 対策推進事業」の倉敷分科会として取り組んだ。</p> <p>3 年間の事業の最終年度にあたる本年度は、COPD の地域における予防と早期発見を目指した取組みを医師会、保健所、医療機関等と連携して取り組んだ。また、今年度初めての取組として、ミニ健康展で肺年齢測定を受けた人に医療機関を受診したかどうかをハガキで回答してもらう追跡調査と、患者向けにフライングディスク講座を取り入れた。検討会では、地域における COPD 対策の進め方について議論をした。報告書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none">・COPD 倉敷分科会(くらしき COPD ネットワーク) 運営 (5/30、9/28、2/22)・COPD 全体会参加 (大阪 9/23、大阪 3/3 (スカイプによる参加))・医療従事者向け COPD 講習会実施 年 2 回 (7/28、11/26)・ミニ健康展でのハイチェッカーによる肺年齢測定 (5/22、6/15、6/18、6/19、7/21、8/27、9/15、9/29、10/1、10/20、10/30、11/12)・患者・市民向け COPD 講習会実施 年 4 回 愛育委員会定例会での講演 (9/8、11/17) 在宅酸素患者・COPD 患者向けフライングディスク体験 (10/30、3/5)
------	---

海底ごみ減量化に向けた取り組み

事業内容	<p>日本財団助成事業として、海辺の生きもの観察や漁業体験を通じて海ごみ問題の啓発を目的とした「海からの贈り物“瀬戸内海のいいところ”を探しに行こう！」を実施した。本事業では、生きもの観察や漁業体験の最後に絵手紙を作成し、見つけたものを大事な人へ伝える発信者になる取り組みをおこなったところ、参加者に好評だった。</p> <ul style="list-style-type: none">・海辺のエコしらべ (7/18)・海をもっと知ろう! 漁業体験 (7/24 38 名参加、11/12 19 名参加)
------	--

温暖化防止

事業内容	<p>日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を専門家の協力を得て行った。今年度は、岡山県が「岡山県地球温暖化防止行動計画」の改訂時期にあたり、これまでの調査結果を取りまとめ意見書を作成、提出した。意見書と合わせて報告書を作成した。また、温暖化防止に向けた勉強会を開催した。</p> <p>7/22 岡山県新エネルギー温暖化対策室と懇談、温暖化防止勉強会の開催 2/13 「岡山県地球温暖化防止行動計画」への意見書(パブコメ) 提出 3/31 「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の改善にむけた提言(2016 年度版) 提言前の計画書制度対象大口事業者の問題報告書」印刷</p>
------	--

(2) 提言活動

提言活動

事業内容	<p>調査研究活動等で得られた知見、また研究者やNPO等との連携を活かし、岡山県、倉敷市などの政策に対して意見を述べた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県河川整備検討委員会 ・岡山県環境審議会審議委員（9/1、10/13） ・倉敷市生物多様性地域戦略推進委員会（11/30） ・新岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会（8/29、2/9） ・かんきょうひろば（4/15、12/14、3/15） ・倉敷市歴史文化基本構想ワーキンググループ（10/18、2/15）
------	--

公2（公益目的事業2）

大気汚染公害・環境問題・環境再生・まちづくりに関わる普及啓発・支援事業

水島の公害経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざし、公1「調査・研究・提言活動」で得られた知見を活用し、市民や企業、行政、NPO等に学習の場を提供、活動の支援、情報の収集提供をおこなう。

(1) 講師派遣

事業内容	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団研究員を講師として派遣することで、水島の教訓や海の環境問題の現状などを伝え、市民の環境問題に対する理解を深め、意識の啓発を進めることができた。</p> <p>また、昨年度に引き続き、岡山大学実践型社会連携教育授業やグローバルパートナーズ授業で財団研究員が非常勤講師となり、授業の企画から実際の授業運営を行った。</p> <p>岡山大学実践型社会連携授業</p> <p>前期の木曜7.8限の授業及び、2回のフィールドワークを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業（4/7、4/14、4/28、5/26、6/2、6/9、6/16、6/23、6/30） ・フィールドワーク（漁業体験 4/23、水島まち歩き・患者さんとの懇談 5/21） <p>岡山大学グローバルパートナーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク「高度経済成長の光と影 生産から廃棄、公害問題の現場に学ぶ」（7/2-3） <p>その他、以下のテーマを中心に18回の講師派遣を行った。</p> <p>*暮らしと環境・社会とのつながり（かんきょうひろば出前授業として） 「食と環境と交通を考える ～フードマイレージ買い物ゲームを通じて～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県生涯学習センター中学・高校地歴公民教員 20名（6/29） ・岡山医療生協コムコム 小学生 37名（7/25） ・小田わかばクラブ 学童保育小学生 42名（8/18） ・岡山市立岡山中央小学校 小学5年生 40名（9/21） ・岡山市立曾根小学校 小学4年生 22名（10/19） <p>*水島の地域開発と公害の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり授業：倉敷芸術科学大学（6/30） ・高梁川流域と連島 ―水島地域の環境問題―：連島公民館講座（7/14） ・水島の歴史を知ろう！：水島小学校（12/15） <p>*環境再生・まちづくり</p> <p>「八間川」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八間川をもっと知ろう！：水島小学校（7/12） <p>「環境・まちづくりで働くということ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉敷南高等学校 社会人講義（1/10） <p>「水島の公害問題と環境再生の取り組み」</p>
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山理科大学 環境政策講義 (7/7) <p>*海関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アマモ場観察会 (牛窓) : フジイ印刷 (8/27) ・ ドリームタウンフェス in KOJIMA : 児島青年会議所 (5/8) ・ 故郷の海レスキュー隊 (小・中学生への講演) : 海守さぬき会 (8/24、3/19) ・ 瀬戸内海を知っていますか? (漂着物アクセサリー作り) : 倉敷市クルクルセンター (8/19) ・ 笠岡市環境フェスティバル(漂着物アクセサリー作り) : 笠岡市 (10/29) ・ 倉敷商業高校モニターツアー (海ごみ) : 倉敷商業高校 (11/23)
--	---

(2) 研修・視察

事業内容	<p>毎年恒例となっている倉敷医療生活協同組合新入職員研修、川崎医科大学見学実習、水島エコツアー、岡山大学実践型社会連携教育授業、岡山大学グローバルパートナーズ研修に加えて、新たに香川大学(エッカード大学)、上海理工大学、広島大学など受け入れがあった。合計 16 件でのべ 356 名が水島に学びに訪れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉敷医療生協新入職員研修 (4/2) 55 名 ・ 川崎医科大学医学生受け入れ (4/6、4/20、5/18、6/8、6/22) 122 名 ・ 岡山大学実践型社会連携授業フィールドワーク (4/23、5/21) 各 22 名 ・ 岡山大学実践型地域資源開発フィールドワーク (10/15) 2 名 ・ 香川大学(エッカード大学) 6/9-10 5 名 ・ 岡山大学グローバル人材育成特別コース研修 (7/2-3) 16 名 ・ 岡山大学グローバルパートナーズ(植村先生) (7/9、12/14) 8 名、27 名 ・ 上海理工大学(岡山大学グローバルパートナーズ) 7/19 39 名 ・ 広島大学 (3/9) 16 名 ・ ひろしま NPO センター広島県環境学習リーダー養成研修 (8/28) 22 名
------	---

(3) 学習講座啓発

事業内容	<p>倉敷市環境学習センターと連携し、学びと交流の場を活用しながら八間川調査、海辺のエコしらべ、インタープリター養成講座を開催した。また、各種イベント等にも出展し、市民へ広く普及啓発をおこなうことができた。</p> <p>講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八間川調査 : 倉敷市環境学習センター連携講座として 2 回開催 (6/18、8/20) ・ 海辺のエコしらべ(日本財団助成事業)を倉敷市環境学習センター連携講座として開催した。連続講座として、ビーチグラスアクセサリー作りを行った。 <ul style="list-style-type: none"> 7/18 海辺のエコしらべ 7/29 ビーチグラスアクセサリー講座 ・ インタープリター養成講座 (倉敷市環境学習センター登録団体連携) <p>協働取組事業で進めている水島での教育旅行の受け入れなどの際に解説のできる人材の育成を目的とした講座を開催した。嵯峨創平氏、岡亜希子氏を講師に迎え、座学とフィールドワークを通じて実践的に学んだ。</p> <p>3/11 講座「地域を紹介するインタープリターのスキルを身に付けよう」</p> <p>講師:嵯峨創平氏(岐阜県立森林文化アカデミー教授)、岡亜希子氏(NPO 法人体験学習研究会プログラムコーディネーター)</p> <p>イベント等への出展、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉敷市環境フェスティバル 倉敷の海・アマモ (6/4)
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み展示「海底ごみと私たちの暮らし」（倉敷市環境学習センター） ・夏休み展示「公害と子どもたちの暮らし」（倉敷市環境学習センター） ・第4回おかやま環境教育ミーティング（8/17） ・リサイクルフェア in くらしき 倉敷の海・海底ごみ（10/2） ・笠岡市環境フェスティバル（10/29）
--	---

支援連携

事業内容	<p>倉敷・総社温暖化対策協議会やエコらぼ倉敷などの市民団体・グループの組織を支援し、環境保全を目的とした市民活動のレベルアップを目指した取組みを進めた。環境月間における倉敷市との懇談会は、海ごみをテーマに開催し、市民・企業・行政の協働で課題を解決する方法を講師の事例（京都府亀岡市）に学びながら、高梁川流域の今後の取組みを参加者が考えるきっかけができた。</p> <p>地域の団体の支援では、水島おかみさん会から事務委託を受けて水島夢 Koi・Koi！実行委員会、水島お雛めぐり実行委員会などの開催支援をした。</p> <p>第14回環境月間における懇談会 「高梁川流域における海ごみ対策を考えよう」をテーマに、講義&ワークショップ形式で高梁川流域での具体的な対策について考えた。 講師・コーディネーター：原田禎夫氏（大阪商業大学准教授） 6/29 31名参加</p> <p>倉敷総社温暖化対策協議会 交通システムグループを担当、水島の協働取組と連携イベントを実施した。 ・バイクビズ・みずしま「親子で水島のいいところを探そう！」（連島編）（8/7）</p> <p>瀬戸内の環境を守る連絡会 1972年に瀬戸内地域の環境問題に取り組む市民団体の連絡組織として設立された連絡会の事務局を明石地域から引き継ぎ担当した。 ・第41回公害被害者総行動デー 閉鎖性海域対策室交渉（6/2）</p> <p>STOP 温暖化くらしき実行委員会：実行委員会に参加、運営に協力した。 ・STOP 温暖化くらしきミーティング（12/11）</p> <p>おかやま環境教育ミーティング（アスエコ）：実行委員会に参加、協力した。 ・第4回 おかやま環境教育ミーティング（8/17）</p> <p>水島おかみさん会：みずしま夢 Koi・Koi！実行委員会に協力した。 ・水島港まつり 夢 Koi の日（7/31）</p>
-------------	--

ESD 拠点支援

事業内容	津山圏域クリーンセンターESD 拠点化支援・プログラムづくりの委託を EPO ちゅうごくから受け、支援を行った。パンフレット作成助言、評価会議運営補助を2回、小学生の受け入れの現状調査、3/1のESD 学び合いフォーラム参加・発言等を行った。
-------------	---

環境省協働事業

事業内容	今年度からは、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金助成事業として「コンビナート地域における地域と企業の協働体制を強化し、環境学習を通じた持続可能な地域づくりモデル事業」をテーマに、昨年度立ち上げた3つのワーキンググループを中心に取組を進めた。12月にはシンポジウム「世界一の環境学習のまち みずしまを目指して」を開催し、コンビナート企業関係者も参加して学びを通じた地域づくりについて語り合い、市民・企業・行政等によ
-------------	--

	<p>る協働が親展した。シンポジウムの中で、和解記念事業の一環として特別ゲスト演奏としてコンサートを実施した。演奏：ムジカくらしき弦楽四重奏。またシンポジウム同時開催として、写真展「水島の記録 1968-2016」を1週間開催した。</p> <p>①環境学習推進ワーキンググループ：リーフレット「みずしまの環境学習へようこそ」を作成し、講座や研修で活用した。岡山大学と連携した授業を通じて、水島の教材づくり等を行った。</p> <p>②企業市民ワーキンググループ：企業と地域をつなぐことを目的に環境学習エコツアー(8/23)の開催、企業のCSRアンケートを通じて関係性を構築し、12/23にはシンポジウムを開催した。また、CSRを学ぶ勉強会も開催した。</p> <p>③地域交流ワーキンググループ：地域を知り、地域内の交流促進を目指して、「バイクビズ・みずしまイベント(連島編)」の開催や、連続講座「水島学講座(初級編)」を開催し、定員を上回る申し込みを得、好評だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会の開催(5/11、9/28、1/31、3/23) ・環境学習推進ワーキンググループ(11/29、1/24、3/13) ・企業市民ワーキンググループ(7/26、11/9、1/31、3/7) ・地域交流ワーキンググループ(10/5、3/5) ・バイクビズ・みずしま(連島編)イベント開催(8/7) ・水島コンビナートをもっと知ろう！環境学習ツアー開催(8/23) ・水島学講座(初級編)を開催(10/25、11/29、1/24) ・教育旅行を考える勉強会を開催(1/26) ・企業のCSR勉強会を開催(3/23) ・「水島いいところ探し(海編)」を開催(3/12)
--	---

たより

事業内容	<p>みずしま財団の活動を広く一般に周知し、活動への理解を広げることを目的に、広報紙「みずしま財団たより」の発行、FMくらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」(毎週金曜日)、ブログ、facebook等による情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みずしま財団たより：No.85(8月)、86号(11月)を発行した。 ・FMくらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜 15:45~16:00 <p>みずしま財団の活動や環境に関する最新情報や地域情報などを発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア(ブログ、facebook等)効果的な情報発信を目指した。
-------------	--

出版

事業内容	<p>従来の出版物やビデオ等の資料の販売を行った。</p> <p>和解20周年を記念して作成した写真集「水島の記録」の販売の取組み力を入れた。また、「501人の命から」パンフレットは、視察研修受け入れの資料として活用することができた。その他の報告書等については、活用・販売は進まなかったが、「501人の命から」報告書やビデオの販売があった。</p>
-------------	--

資料室

事業内容	<p>昨年度に引き続き、資料保存・整理を進めるとともに、特定費用準備金600万の取り崩しによって倉敷公害訴訟和解20周年記念事業に取り組んだ。①写真家高田昭雄氏の協力の下、写真集「水島の記録 1968-2016」の発行。②杏林大学江頭説子氏のヒアリング調査に基づく報告書「倉敷公害患者と家族の会の軌跡と経験」の発行。③資料整理や閲覧体制の整備に基づく患者会の資料目録の</p>
-------------	--

	<p>作成。全国公害資料館ネットワークに参加し、12月に水俣市で開催されたフォーラムでは、地域づくりの分科会を担当した。また、全国の団体と交流をし、知見を広げた。杏林大学江頭説子氏の聞き取り調査に協力を行った。</p> <p>倉敷市環境学習センター展示「公害と子どもたちの暮らし」 会場：倉敷市環境学習センター エコギャラリー</p> <p>全国公害資料館ネットワーク：実行委員会に参加した。</p> <p>企業研究会（北九州 11/21） 公害資料館フォーラム in 水俣（12/16~18）</p>
--	---

財産運用益及び会費・寄付金収入

基本財産運用益 17 万円、特定資産運用益は 68 万円となった。今年度は、4 月に入って個人・団体等へ賛助会費納入の働きかけをおこなったが、その後の取り組みがあまり進まず、昨年度実績の 125.2 万円に対し 104 万円と、21.2 万円の減額となった。受取寄附金は、当初予算 130 万円に対し、41.7 万円と目標を大幅に下回った。

組織ほか

機関会議

理事会（6/5、6/26、7/23、11/13、2/5、3/4）

評議員会（6/26、3/18）

監査

平成 27 年度監査を 5/16 に行った。

事務局会議（拡大事務局会議）

毎週木曜日の 10:00~12:00 で事務局会議を開催した。月に 1 回理事、協力者が参加する拡大事務局会議を開催した。

/以上